

きほく人奮闘記



鬼北炭焼き会 会長
とみなが ひろし
富永 汎 さん

「日吉産の木材を使用した炭で鬼北を盛り上げたい」その熱い志を胸に、鬼北炭焼き会は活動しています。

江戸時代から炭焼きの文化が盛んだった日吉地区。しかし、昭和30年代に主要燃料が炭から石油へ移ったことをきっかけに、徐々に地区内の生産者も減少していきました。そして、それに伴い、炭焼き窯の作り方を知っている住民も数人となり、富永汎会長は「このまま

では日吉の炭焼き文化が廃れてしまう」という危機感を抱き、炭窯造りの技術継承を目的に当会は立ち上げられました。

昨年の10月から会員らで着手していた炭窯造りも無事完成。出来上がった炭窯には、直径約15cmの原木が約300本入ります。そして、12月には日吉小学生を招いた火入れ式が行われ、富永会長は「みんなの手が加わった炭窯に、やっと火入れができたときはとても嬉しかった」と、笑みを浮かべていました。

物心ついたときから炭焼きに携わってきた富永会長。「炭窯からもくもくと上がる煙を見るのが楽しみ」と、子どものような無邪気な笑顔を浮かべます。その煙の出方によって、炭の出来が全然違うそうで、富永会長は「炭窯造りは煙突作りに一番神経を使う」と言います。より硬く燃えやすい炭を作るため、常に工夫を凝らしています。

「より良い炭を作りたい」「より良い炭窯を作りたい」「炭窯造りの後継者を育成したい」。炭に対する富永会長の夢は無限に広がります。また、炭焼きは8月末から4月中旬がシーズンといい、富永会長は、この期間中にできる限りより多くの炭を作りたいと考えています。今後、炭焼き文化の伝統とともに、常に向上心を忘れず炭と向き合う富永会長の思いも継承されていくことでしょう。

鬼王丸のほのぼの日記

作 榎形 浩人
絵 にのみや なつみ



人口と 4/30現在

世帯数

人口	10,745人
男性	5,023人
女性	5,722人
世帯数	5,125世帯

※外国人住民を含みます。

▼ご当地プロレス団体「愛媛プロレス」の新レスラーとして誕生した鬼王丸。得意技は回し蹴りを変化させ首を一撃する「金棒トルネード」と、相手を抱え上げ回転しながら落とす「鬼北ランチャー」。プロレスが好きなのは、「鬼北ランチャー」を体験させていただきました。どのような技か説明しながらだったため、地面に強く叩きつけられることはありませんでしたが、筋肉隆々のレスラー鬼王丸に抱えあげられるという貴重な経験ができて、とても嬉しかったです。

▼新生活には慣れましたか？疲れは溜まっていますか？体調管理には十分お気をつけてください。(悠)

編集後記